

子育てするなら恵那がいい!

ができるまちを目指して、切れ目のない支援を行うための施策「ひとねるサポート」で、さまざまな支援事業を進めています。

平成28年度には、子育ての総合相談窓口「えなつ宝ほっとステーション」を子育て支援課内に開設しました。保健師や専門の相談員が子育てに関するさまざまな相談に応じたりの、ニーズに合った子育てサービスの情報を提供したりしています。「子育てするなら恵那がいい!」支援内容を特集します。

☑ 子育て支援課(内線268)

安心して子育てできるまちを目指して

妊娠、出産、そして子育てにおいて、私たちをとりまく環境は日々変化しています。特に、共働き家庭の増加や核家族化の進行により、社会全体で子育てを支えていくことが求められています。祖父母の手助けや地域での助け合いのほか、必要な子育て支援を受けやすい環境作りが必要です。

この現状と課題を踏まえ、恵那市では、安心して妊娠や出産、子育て



物知りおじさんのふるさと情報



中山道かたりべの会会長
西尾 重人さん
(大井町)

今月の物知りおじさん

明治天皇巡幸による大井行在所の昔と今

明治13年、天皇の民情視察のため6月28日に大井にお泊りになることが、3月30日に決定され諸準備が始まりました。当時、宿は施設の整っている本陣を使うところですが、すでに大井の本陣は郡役所に使われていたため、相談の結果、旅館の伊藤弥兵衛宅(現岩井家)に決まりました。お泊りには三部屋続き(行在所、侍従室、大臣級室)の間、風呂場、便所が必要となることから、急ぎよ、隣家を購入し改築を行ったため、今も増築部分の継ぎ目跡が残っています。

行列は東京から中津川までは、板敷で、それ以降は二頭立ての馬車で巡幸することになり、馬車が通過できるような起伏が激しい岡瀬の甚平坂は2層程切り下げられ、上宿の坂も長国寺の前から大井小学校の下を迂回するよう、道路改良が行われました。長島地区でも当初は中山道を巡幸する予定でしたが、同様な理由で追分から下街道を通過するよう変更されました。巡幸に合わせて大井の本町を中心に、文明開化の象徴である「ガラス灯」の設置願いが出され、人もうらやむ大井宿といわれました。しかし急ぎよ決まった巡幸に、3カ月間の突貫工事に対応した当時の人々の苦労がしのべれます。

行在所は戦後、大井郵便局、役場に改造されましたが、当時の姿で古い建築様式を探求できる所は他に無く、貴重な建物です。5年程前に一部修復工事を、中学生と一緒に行いました。今年は明治150年です。大人も子どもも共に学び、楽しむ場に活用したいものです。



▲隣家を購入、改築した三部屋続きの間

ふるさとに学び郷土愛を育む、毎月第3日曜日は「恵那市読書の日」
市中央図書館・伊藤文庫

広報えな 5月号 目次

- 3 特集 子育てするなら恵那防いい
- 8 注目情報
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ
- 18 健康ガイド
- 19 子育て支援センター・相談
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
ビジネスサポートセンター
健康レシビ・男女共同参画
- 24 出生・1歳になりました
園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 再びの恵那第九

今月の表紙



笠周地域の救急を担う分遣所が開所

4月4日、市の北部に位置する笠周地域(笠置町、中野方町、飯地町)の救急を管轄する、中野方救急分遣所の開所式が行われました。中野方救急分遣所は笠周地域の救急体制を充実させるために、中野方コミュニティセンターに救急隊員3人と高規格救急車を1台配置し、4月2日から業務を開始しました。開所式では笠周地域振興計画推進委員会の委員や小坂市長ら21人が出席し、開所を祝いました。

数字で見る恵那市

人口(4月1日現在)

総数	50,630人	(-207)
男	24,592人	(-99)
女	26,038人	(-108)
世帯	19,658世帯	(±0)
()	内は前月との比較	

人口動態(3月異動)

出生	27人	
死亡	66人	-39人
1月からの自然増減	-139人	
転入	202人	
転出	370人	-168人
1月からの社会増減	-165人	

交通事故(3月中の概数)

人身事故	7件	(21件)
物損事故	95件	(359件)
負傷者	8人	(25人)
死者	0人	(0人)
()	内は1月からの累計	

火災(3月)

建物	1件	(1件)
その他	2件	(5件)
()	内は1月からの累計	

救急車出動回数(3月)

206回	(637回)
()	内は1月からの累計

◀市ウェブサイト
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

◀市メール配信サービス
防災や観光などの情報を電子メールで配信しています。



若森多恵さん(長島町) 丸山小百合さん(大井町) 上田有紗さん(長島町)
咲ちゃん(2歳11カ月) 竣 勢くん(11カ月) 麻悠香ちゃん(1歳6カ月)

子ども元氣プラザを利用している、子育て真っ最中のお母さん3人に、「子育てするなら恵那がいい!」をテーマに、恵那市の子育て環境や、日ごろ感じていることなどを、語ってもらいました。

——市立恵那病院で出産できるようにになりました
上田 近場で生めることは通院の便が良く、すごくいいなと感じます。子どもが1歳になる頃までは、なかなか遠くに行けないので、近くでサポートしてもらえるのはありがたいですね。次の出産も視野に入るようにしました。
丸山 出産時はまだ分娩が始まる前だったので、実家のあまらで里帰り出産をしました。今後、出産の時は近いので、恵那病院を利用したいと思っています。医師や設備などの詳しい情報が分からないので、少し不安はありますが、見学ができればもっと安心できるかな。
——日ごろの子育てで感じていることは
若森 1人目の出産の時は知り合いもなく不安でした。そんな時、元氣プラザが近くにあり利用しました。やはり家だけにいると不安になります。他のお母さんと知り合いになれたこの場所に、本当に

あなたの子育てを全力で支援 えなっ宝ほっとステーションに お気軽に相談ください

本年度も、昨年度から引き続き「ひとねるサポート」として、恵那市が子育てしやすい町になるよう、子育て支援施策を進めています。子育て情報冊子『大きなあれ』は大幅にリニューアルし、子育て世代の皆さんへ情報発信していきます。えなっ宝ほっとステーションでは、子育てに関する相談をなんでも受け付けています。小さなことでも、お気軽にお問い合わせください。



恵那市役所西庁舎2階
(子育て支援課内)
☎22-9137 (直通)

子育てするなら 恵那がいい! ママさんトーク

——市立恵那病院で出産できるようにになりました
上田 近場で生めることは通院の便が良く、すごくいいなと感じます。子どもが1歳になる頃までは、なかなか遠くに行けないので、近くでサポートしてもらえるのはありがたいですね。次の出産も視野に入るようにしました。
丸山 出産時はまだ分娩が始まる前だったので、実家のあまらで里帰り出産をしました。今後、出産の時は近いので、恵那病院を利用したいと思っています。医師や設備などの詳しい情報が分からないので、少し不安はありますが、見学ができればもっと安心できるかな。
——日ごろの子育てで感じていることは
若森 1人目の出産の時は知り合いもなく不安でした。そんな時、元氣プラザが近くにあり利用しました。やはり家だけにいると不安になります。他のお母さんと知り合いになれたこの場所に、本当に

支えられました。
丸山 恵那の方はみんな親切にしてくれれます。近所付き合いは面倒くさいという印象を持っていましたが、子どもに声をかけてくださったりして、子どもにとってもいい刺激になるし私もリラックスできます。近所のおばあちゃん家で遊ばせてもらっています。こんなことは実家にいたらなかったかもしれません。
上田 予防接種で知り合ったお母さんに、市内でやっているベビーマッサージに誘ってもらい、参加したことで友達の幅がさらに広がりました。
丸山 3人4人のお子さんを待つ先輩お母さんたちの姿を見ていて、私もこのまま恵那で子育てを続けたいと思っています。
若森 人がのんびりしていて、自分もリラックスできる子育てができます。
上田 アットホームな子育てができる町ですね。ゆったりみんなで子育てができます。

あなたの力と経験を保育の現場へ 岐阜県保育士・保育所支援センターのご案内

岐阜県保育士・保育所支援センターは、もう一度保育士として働きたい方や現役保育士の相談に応じる機関です。

こども園等への就職、復帰、保育の不安を解消するため、専任コーディネーターと発達相談員がお手伝いします。お気軽にご相談ください。

- 支援内容 個別相談・出張相談、こども園等見学のコーディネート、求人情報の提供、こども園などで働きたい方の就業紹介
- 開所時間 平日午前9時～正午、午後1時～午後5時(祝日、休日年末年始等は休み)
- 問い合わせ 岐阜県保育士・保育所支援センター ☎058-214-8902 保育士オンライン登録システム <http://hoiku-online.pref.gifu.jp/>

子育てするなら 恵那がいい! 市立恵那病院で 分娩スタート

平成19年に市内で唯一だった出産のできる施設が閉院して以来、市には出産できる病院がありませんでした。



▲昨年10月から分娩が始まった市立恵那病院

平成29年度から、産前・産後サポートとして、妊娠・出産・子育てに悩みや不安のある妊産婦の方に対し、助産師や保健師が個別に相談に応じています。
産後ケアは、産後、自身の体調や育児に不安があり、家族からの支援が十分に受けられない母子を対象に、産後のケアや生活指導、授乳や沐浴のアドバイスなどを行っています。産後4カ月まで利用することが出来ます。市立恵那病院での宿泊または日帰りによる、助産師の個別指導を受けられます。

子育てするなら 恵那がいい! 産前・産後サポート、 産後ケア



▲産後ケアでは助産師が個別に指導

しかし、平成28年11月に市立恵那病院がリニューアルオープンし、待望の産婦人科が開設されました。平成29年10月から分娩が始まり、11月16日には、出産第一号となる女の子の赤ちゃんが誕生しました。10年ぶりとなる市内での産声です。
市内で分娩ができるようになり、多くの方に「安心できるように became」と声をいただいています。今年3月末までに25人の出産があり、今後多くの方に予約いただいています。



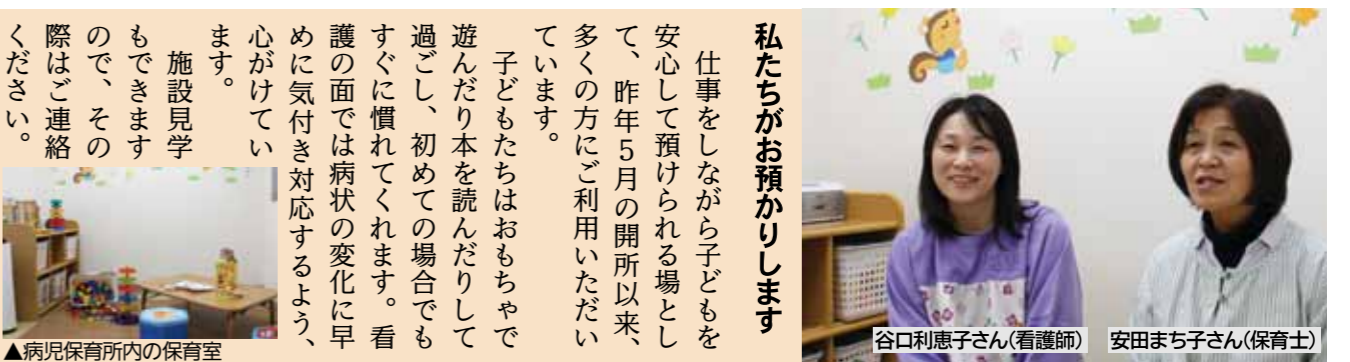
市立恵那病院産婦人科 伊藤雄二先生
(総合診療産婦人科養成センター長)

新しい病院で、安心して安全な分娩をしていただく環境を整えています。妊娠する前のケア、お産の後のケアを受けていただくことができます。市からのサービスを利用して、産後も継続してケアを受けられるというのが大きな特長ではないかと思えます。これから出産を控える方たちにも、この体制を継続していきたいと考えています。恵那市でお産ができる事を喜んでいただきたいです。

子育てするなら 恵那がいい! 病児保育所

平成29年5月に市立恵那病院の隣に、病児保育所を開所しました。病児やその回復期の子どもを保護者が看ることができないときに、病児保育所で預かり、子育て世代の皆さんが、子育てと仕事を両立できるよう応援しています。生後8カ月から小学6年生まで、平日の午前8時から午後6時の間で利用することができます。昨年度は延べ124人のお子さんに利用いただきました。

本年度はより多くの方に利用いただくため、当日予約・利用も可能になりました。利用希望日の午前8時半から9時半までに電話予約すること、当日利用もできます。さらに利用しやすくなった病児保育所を利用ください。
☎ 市病児保育所 ☎25-1144 (受け付け時間 平日午前8時半～午後5時)



私たちがお預かりします
仕事をしながら子どもを安心して預けられる場として、昨年5月の開所以来、多くの方にご利用いただいています。
子どもたちはおもちゃで遊んだり本を読んだりして過ごし、初めての場面でもすぐに慣れてくれます。看護の面では病状の変化に早めに対応できるように心がけています。
施設見学もできますので、その際はご連絡ください。
▲病児保育所内の保育室
谷口利恵子さん(看護師) 安田まち子さん(保育士)